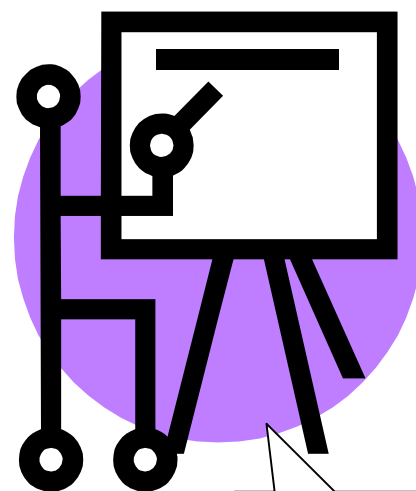


# 川辺川ダム問題研究発表&座談会

## 「若手研究者、川辺川を語る」

計画発表から40年以上経過し、一昨年には白紙となった川辺川ダム計画。しかし、地域社会に及ぼす影響は計り知れないものがありました。ダム建設反対運動は単に事業に反対するだけでなく、公共事業のあり方そのものに疑問を投げかけ、公共事業はどうあるべきかを模索してきました。

この問題に関心を抱く研究者も多く、学生の頃から現地を訪れ、住民と交流しながら研究を続けている人もいます。今回、こうした研究者を招き、研究発表&座談会を行います。研究者はダム問題をどう捉えているのか、若者からダム反対運動はどう見られているのか、興味深い話が聞けると思います。皆さんの参加をお待ちします。



10月6日  
(土曜日)  
入場無料

### 研究発表

「川辺川ダム問題の住民運動における学び 住民討論集会を中心に」  
(楠野晋一、東京農工大学大学院共生持続社会学・修士課程)

「川辺川ダム建設をめぐる政治過程 川辺川利水裁判を中心に」  
(土肥勲嗣、九州大学大学院法学府政治学専攻)

「ダム開発長期化の影響 五木村民の生活史」  
(森明香、一橋大学大学院社会学研究科総合社会学専攻修士課程)

### 座談会

「私が川辺川問題を研究する理由」

日時：2007年10月6日(土) 17時30分開場 18時開始

場所：熊本市・県民交流館パレオ会議室1(市電水道町電停下車、鶴屋東館9階)

主催：子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

問い合わせ：070-5273-9573 土森

